＜先週の説教から＞

『詩編㉕ ― 主の道を教えてください！』

武田　真治　牧師

詩 編 ２６：１～１２　使徒言行録 ４：１１～２２

この詩編26編が、後のキリスト教会に於いて最もよく引用されて用いられている箇所は6節の「手を洗って潔白を示す」です。この言葉は、イエス様が十字架に架けられる前にポンテオ・ピラトによって裁かれた場面と密接に関係しているからです。というのは、イエス様の無罪を知っていたにもかかわらず、群衆の『十字架につけろ』という声に押されて死刑の判決を出してしまう際に、水を持ってこさせ「群衆の前で手を洗って「この人の血についてわたしには責任がない。お前たちの問題だ」と行動の意味を示している言葉として引用されて来たのでした。この手を洗う行為は、ローマの習慣にはなくユダヤの習慣でした。面白いのは、ピラトはローマ人なのに敢えてこの行為をしたのでした。こうすることによってユダヤの民衆に分かってもらうようにと。故に、ピラトもこの詩編を読んでいたのかもしれないのです。

それに対して、ユダヤ教で最も用いられてきた箇所は最初の1節です。即ち「主よ、あなたの裁きを望みます。わたしは完全な道を歩いてきました。主に信頼して、よろめいたことはありません。」です。最初の言葉は原文では（私を裁いて下さい。主よ）であり、ここまで自信を持って自分の正しさを表明できる程に、律法を正しく守って生きるようにとの教え＝《ユダヤ教信仰の理想》を語っている言葉として読まれてきたからです。

しかし、この詩編の詩人は決して自慢しているのではありません。むしろ、この後の6節以下に「あなたの祭壇を廻り、感謝の歌声を響かせ、驚くべき御業をことごとく語り伝えます（＝旧約聖書にある出エジプト等の奇跡物語を読み上げること）」とありますように、神殿や聖所での礼拝に集おうと遠くから巡礼の旅をして来たと考えられるのです。それは最後の節にも「聖歌隊と共にわたしは主をたたえます」とあるからです。その上で考えられるのは、最初の節は神殿や聖所の境内に入ろうとする際の思いではないかと。実は当時、門の所で入場を許すかどうか門番からチェックを受けました。それが1節の言葉と特に2節「主よ、わたしを調べ、試み、はらわたと心を火にもって試してください」の意味だと言い得るのです。その意味では最初の「手を洗って潔白を示し」も自らの行動の正しさを表明している言葉と言い得ます。

ただ、私たちの信仰から言えば、イエス様は弟子たちが手を洗わないとファリサイ派や律法学者から批判を受けた時に『口に入るものは人を汚さない。しかし、口から出て来るものは、心から出て来るので、これこそが人を汚す』と言われました。外側の汚れよりも心の中で思う憎しみや嫉妬等こそ問題だと。故にイエス様は自ら十字架に架かってくださり私たちの“内なる罪”を清めてくださったのです。私たちのまさにこの礼拝で一人ひとりの思いが清められ、思いも新たに生きていくのです。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

【今週の集会】

＊聖書研究・祈祷会　Ⅰ．10月 5日（水）20：00
Ⅱ．10月 6日（木）10：30

聖　　書：　ハイデルベルク信仰問答
祈祷主題：　神学校日　10/9 を覚えて
担 当 者：　（水）相浦　　（木）黒川
祈 る 人：　丸茂理さん　　宮下さん

【教勢報告】

主日礼拝　　男　21　　女　52　　計　73
祈祷会　Ⅰ．男6　女4　計10　　Ⅱ．男2　女7　計9
日曜学校　　休 校

【次週礼拝】　１０月　９日（日）

聖　書：　イザヤ書　５３：１～１０
ヘブライ人への手紙　１０：１～１０
説　教：　「ヘブライ㉘ ―御心に基づいて、主の体が献げられた！」武田 真治 牧師
讃美歌：９９(1)、３２(1)、３１１(1と2)、４７９（1と2)、８８(1)

【次週当番表】

司式:岩佐長老　奏楽:勝村　礼拝:齋藤長老
献金：羽倉、橘本　　受付：鈴木　橘本
会堂準備：飯島　岡本由　金剌　中村
看板：岩佐　　週報：飯島 お花：茨木

【次週集会予定】礼拝前：・求道者会　・聖書輪読会
礼拝後：・壮年会・婦人会・ダビデ会・聖歌隊練習
・幼稚園理事会

６３－４０

週　報

2022 年度　教会標語

「礼拝に支えられ、共に生きよう！」

２０２２年　　１０月　２日

日本キリスト教団　**上尾合同教会**
牧　師　　武田　真治

〒362-0041　上尾市富士見２－３－33
TEL＆FAX　048－771－6549
http://www.ageo-church.org/